

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和8年第25週 (6月15日～6月21日)

手足口病が増加しました

今週は8名の報告があり、一気に増加しました。大分県全体では定点あたり14.39名となり、先週の15.89人から減少しましたが、引き続き、流行発生警報は発令されています。

手足口病は、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスなどを原因とする感染症で、例年夏季にピークを迎えます。典型的な症状は、手のひらや足の裏、口の中などに水疱を伴う発しんがでます。多くの場合は1週間程度で軽快しますが、まれに重篤な合併症がみられることがあります。予防には、アルコール消毒が効きにくいので、流水と石けんでこまめに手洗いすることが大切です。症状が改善した後も、1か月程度は便からウイルスが排泄されるといわれているため、おむつ交換をした後にはしっかりと手洗いをしましょう。

麻しんにご注意ください

国内では麻しんが例年と比較して多く報告されています。6/14までに529件の届出があり、昨年の同時期と比較すると、約4倍の数となっています。6月23日時点で大分県内での患者発生の届出はありません。

麻しんは感染力が非常に強く、空気感染するため、手洗いやマスクだけで感染を防ぐことはできません。定期接種(1期:1歳、2期:小学校入学前の1年間)がまだの方は、早めに行いましょう。接種歴が1回や不明の方は、予防接種をご検討ください。

また、麻しんを疑い受診する場合は、医療機関へ電話で伝え、指示に従って受診しましょう。公共の交通機関の利用は可能な限り避けてください。

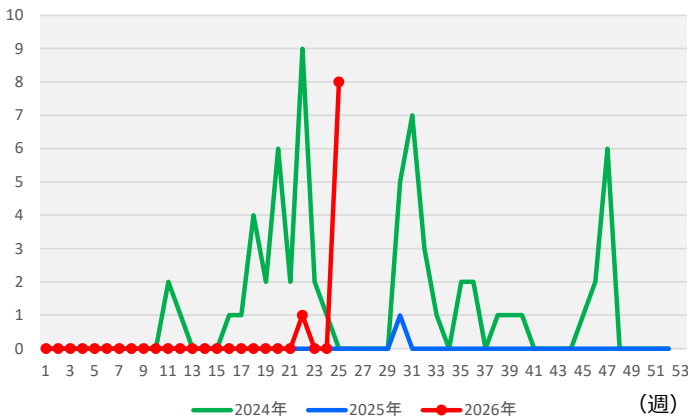
*麻しん(はしか)に注意しましょう！ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/12220/masin-hasika.html>



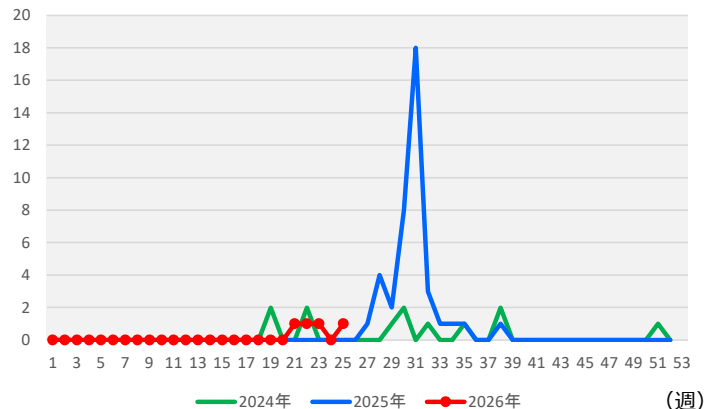
(第25週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳										1									
1～3歳										7			1						
4～6歳																			
7～9歳																			
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
今週										8			1						
70歳以上(再掲)																			
先週																			2

(人) 手足口病竹田市8医療機関総数



(人) ヘルパンギーナ竹田市8医療機関総数



感染症対策

手や足、口の中などに
発しんはありますか？



てあしくちびょう 手足口病

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



感染してから数日後に2〜3mmの水疱(発しん)がみられます。

夏 を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

流行時期

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って染すること)が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感

感染経路

治療方法

手 足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- 高熱が2日以上続く
- 嘔吐する
- 頭を痛がる
- 視線が合わない
- 呼びかけに答えない
- 呼吸が速くて息苦しそう
- 水分が取れずにおしっこがでない
- ぐったりとしている

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 (<http://kodomo-qq.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「#8000 (こども医療電話相談)」にご相談ください。

- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。た、感染しても発症しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

手足口病について ▶

厚生労働省



感染症対策課 2026年6月 作成

注意!

感染力が極めて高い

麻疹(はしか)

感染拡大しています



症状

感染約10日後に発熱や咳などの風邪症状が現れ、2~3日熱が続いた後、**39度以上の高熱と発しん**が出現します。

感染経路


空気感染等によりヒトからヒトへの**感染力は非常に強い**です。発症日の1日前から解熱後3日間まで感染力があります。



皆様へのお願い

- ・麻疹を疑う**症状がある場合**、外出を控え、受診する際には**事前に医療機関に電話**し、なるべく**公共交通機関の利用を避けて**ください。
- ・麻疹の感染拡大防止のため、接触者等への**行政による調査にご協力**ください。
- ・お子様が**1歳または就学前1年間**にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- ・定期接種の**接種歴を確認**いただき、**2回のワクチン接種の検討**をお願いします。
※今回の流行の中心である10~40代の方は特にご検討ください。
- ・妊娠中に感染すると早産や流産のリスクがあるため、**妊娠前の接種を検討**ください。
- ・**免疫不全のある方は**、主治医の方と相談の上、**接種を検討**ください。
- ・**乳幼児は**、肺炎や脳炎を起こすリスクがあるため、**家族の接種歴を確認**ください。

詳しくは、厚生労働省WEBページをご覧ください

 **厚生労働省**

厚生労働省 2022年4月作成

